

みんなのひろば

Message



市民と編集担当者とのおしゃべりコーナー「みんなのひろば」です。より親しみやすい広報紙をめざして、みなさまからいただいたメッセージを紹介していきます。今回は、前号(47号)のクイズ応募ハガキからです。

▼最近ハマっているお店があります。かっぱ天国の隣にある「幸来」です。とにかく美味しい。場所は道路(国道)から少しはずれているのですが、駐車場も広くて入りやすい。店内は明るく感じがよい。味もよく安い。カレーうどんはおすす、皆ががんばっている姿を近くで見ることができず。(50代)

『幸来』の宣伝ありますがとうございませす。ハピクルのモデルになったお店は、高松市仏生山・法然寺(浄土宗)の境内にある『竜雲うどん』です。ここのお店のうどんのコシがすごいです。障がいの

ある人が働くお店です。ネットまで調べて、訪ねて下さい。

▼実母が106才で自宅介護しています。在宅介護は本当に大変ですが、本人の希望もあり、日々悪戦苦闘の毎日です。お風呂のサービスは、本当に助かります。ケアマネさんも相談のつて頂き、私も頼りにしています。これからも介護される方、する方、すべての方が笑顔である事を祈ります。(70代)

親子双方が、納得できる介護の選択が出来て、理想のように思います。気分転換も取り入れて、元気を失わないように工夫して頑張っています。(30代)

▼表紙の絵「さんふらわあと山下清」の谷岡諒一さんの書かれているのを見て大変感動しました。海の部分は銀紙を利用してされたとか、私も絵を書いています。自分には書けない絵とはどんな絵だろうかと考えながら、いつも完成な

のか未完成なのかと問いながら書いています。一人一人個性があり考え方も違って人権を大切にしてください。安んじてくださる淡路市であります様に祈っております。(60代)

▼「作業所アート」の企画を今回で終了します。次号(10月号)は、「居場所」をテーマに、集い元気をもらえる空間を皆様に紹介したいと考えています。お楽しみに。

▼今回のじんけんくらしの扉、同じ町内会のロバート・ワトソンさんの紹介があり、びっくりしました。すごく人の気持ちを分かっている人だと思えます。私の息子もかわいがってもらっています。(30代)

ワトソンさんは、木工が得意な方です。自分で作られた調度品家具を家の中に入らせて頂きました。すばらしかったです。

▼メッセージをお寄せください

クイズ応募ハガキ、FAXやメールでお願いします。
TEL 0799-64-2521
TEL 0799-64-2565
FAX 0799-64-2565
Eメール: awaji.jinken@city.awaji.lg.jp

くらしのトピックス

淡路市社会福祉協議会

「集落福祉サミット」

開催します。

11月25日(土)、26日(日)

集落を構成している65歳以上の割合(高齢化率)が50%を超えると集落として共同体の機能を維持することが限界に近づき「限界集落」といわれます。

淡路市の高齢化率は全体では36%ですが、岩屋・北淡ではすでに40%を超えています。限界集落や消滅市町村などという心無い表現でなく、そこに住み続ける人がいることに着目した表現方法ができないものかと思えます。

確かに私たちが暮らす淡路市の人口減少や少子化は深刻です。しかし、それぞれの地区や集落で取り組まれている活動について丁寧に向うと、地域の事情を踏まえ、協働や連帯・共生といった、そこで暮らし合う人たちの智慧や想い、集落の誇りを感じる取組に出会うことができます。

「集落福祉全国サミット」は淡路市内にとどまらず、全国の集落の実践に学ぶ機会です。地域は違えども、そこで暮らし続ける覚悟を決めた人同士の出会いを一緒に楽しみませんか。

ほわんといい手話!!

第37回

手話は、ろうあ者が日常生活に用いているコミュニケーションの方法です。このコーナーでは、手話やろうあ者の生活を紹介します。

「北淡」



親指と人差し指、中指を伸ばして手首で交差し、2回打ち合わせる

ろうあ者の日常生活を知ろう⑩
娘を出産した時の話です。病院には手話ができる方がおらず不安でした。でも、病院の先生や看護師さんは、筆談や身振り、口話を使って、私が納得するまで何度も何度も丁寧に、細かく説明してくださいました。ろうあ者に理解があったおかげで安心して受診や出産ができ、今でも感謝しています。

協力：淡路聴力障害者協会
手話サークル津名